

平成26年度 一般採用試験前期

地理歴史（世界史）試験問題（12頁中の1）

（人文・社会科学専攻）

（注意） 解答はすべて別紙解答用紙の定められた欄または枠内に記入すること。正しく記入していない場合には採点されないので注意すること。

1 以下の文章(01)～(03)を読み、設問の指示にしたがって解答しなさい。

(01)

イラン系の人々のうち、前1000年頃イラン高原に進出したペルシア人は、前7世紀にはイラン高原南部のファールス地方に定着したといわれる。やがて騎馬弓兵の突撃隊の組織化に成功したペルシア人は、前550年、アケメネス家のキュロス2世に統率されて宗主国メディアを倒し、独立した。すなわち、アケメネス朝ペルシアの建国である。その後、キュロス2世は〔ア〕リディアや〔イ〕新バビロニア（カルデア）も征服し、彼の後継者カンビュセス2世はさらにエジプトを併合した。こうした征服活動の結果、第3代王ダレイオス（ダリウス）1世は、西はエーゲ海沿岸から東はインダス川流域にいたる広大な帝国に君臨する支配者となった。このダレイオス1世の時代には、言語、宗教や経済生活の程度が異なる多様な人々を支配するための中央集権体制とそれを支える諸制度が確立された。たとえば、〔ウ〕サトラップ、「王の目」「王の耳」、〔エ〕「王の道」、駅伝制などである。また、帝国共通の金貨・銀貨も発行され、フェニキア人や〔オ〕アラム人などの商業活動を保護したので交易が活性化した。こうして繁栄をほこったアケメネス朝も、〔カ〕前5世紀にギリシアへの軍事遠征に失敗し、前4世紀には勢力も衰え、前330年にアレクサンドロス（アレクサンダー）大王の遠征軍によって滅ぼされた。

アケメネス朝発祥の地であるイラン高原南部では、3世紀初期、アルダシール（アルデシール）1世に率いられたペルシア人が〔キ〕ササン朝ペルシアを樹立した。ササン朝は226年〔ク〕パルティア（アルサケス朝）の首都クテシフォンを攻略し、230年にはメソポタミア全域を支配するにいたった。続くシャープール1世は、〔ケ〕東方ではインダス川流域まで攻め入り、西方ではシリアに進出してローマ帝国と対抗した。また、シャープール1世は、軍制・税制の改革や交通網の整備によって国家基盤を確立した。

5世紀になると、ササン朝は中央アジアの騎馬遊牧民〔コ〕の侵攻に苦しめられた。しかし、6世紀に〔サ〕が体制を立て直し、東ローマ（ビザンツ）帝国のユスティニアヌス帝に対抗する一方、〔シ〕6世紀中頃に台頭したトルコ系騎馬遊牧民と結んで上記の騎馬遊牧民を滅ぼした。ササン朝は、この支配者のもとで最盛期をむかえた。その後、6世紀末に即位したホスロー2世の時代に領土が最大となったが、7世紀中頃にアラブ人イスラーム勢力に敗北した。

設問1 下線部[ア]に妥当するものをA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- A 鉄製武器を最初に使用した国家である。
- B 世界最古の鑄造貨幣を使用した国家である。
- C オリエント世界の主要部分を初めて統一した国家である。
- D 首都に大規模な図書館を建設したことで有名な国家である。

設問2 下線部[イ]に妥当しないものをA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- A メディアと同盟してアッシリアを滅亡させた。
- B アッシリア滅亡後のオリエント世界に台頭した4王国のなかでもっとも強勢であった。
- C ユダ王国を滅ぼし、その住民を強制移住させた。
- D メソポタミアからアナトリアの全域までを支配した。

設問3 下線部[ウ]に妥当するものをA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- A 徴税や治安維持を担当した地方長官で、通常知事または総督と訳される。
- B 地方行政を監視した王直属の行政査察官。
- C 異民族対策のため地方に設置された募兵軍団の指揮官。
- D 都市の民族別居住区を統括した管理官。

設問4 下線部[エ]について、もっとも有名なものをA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- A スサからペルセポリスにいたる長距離の幹線道路
- B スサからバビロンにいたる長距離の幹線道路
- C スサからサルデスにいたる長距離の幹線道路
- D スサからニネヴェにいたる長距離の幹線道路

設問5 下線部[オ]に妥当するものをA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- A 前13世紀末以降、東地中海一帯で海上交易に活躍したことから、「海の民」という名称でも知られた。
- B 現在のレバノン付近に多数の都市国家を形成し、前12世紀頃から地中海交易をほぼ独占した。
- C 内陸の中継交易に活躍したことから、その言語は前9世紀頃西アジアの共通語となり、その文字も各地に伝わってアジアの諸文字の母胎となった。
- D アナトリア方面で陸上交易に活躍すると同時に、アラビア海における海上交易にも活躍した。

設問6 下線部[カ]の軍事遠征によって発生した紛争の名称を答えなさい。

設問7 下線部[キ]で国教とされた宗教について、妥当しないものをA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- A 火を崇拝したので「拝火教」ともよばれた。
- B 中国には北魏の頃に伝わり、「景教」とよばれた。
- C 「世界は光明を司る善神アフラ=マズダと闇を支配する悪神アーリマンの闘争の場である」と説いた。
- D 「最後の審判」などの観念がユダヤ教、キリスト教などに影響を与えた。

設問8 下線部[ク]に妥当するものをA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- A セレウコス朝支配下にいたイラン系遊牧民が、前3世紀中頃に自立してカスピ海南東地域に建設した国家。
- B セレウコス朝支配下にいたギリシア系住民が、前3世紀中頃に自立してアム川上流地域に建設した国家。
- C アレクサンドロス大王の死後、シリアに樹立された国家で、ローマ帝国に対抗した。
- D 前2世紀前半、匈奴などに追われてアム川上流に移住した遊牧民が樹立した国家で、中国では大月氏国とよばれた。

設問9 下線部[ケ]によって、当時西北インドを支配していた王朝が衰退した。その王朝名を答えなさい。

設問10 [コ]に入る騎馬遊牧民を答えなさい。

設問11 [サ]に入る人物を答えなさい。

設問12 下線部[シ]に該当する騎馬遊牧民を答えなさい。

(02)

15世紀初期、明の^[ス]乾隆帝や宣徳帝は、^[セ]鄭和の率いる大艦隊を7回にわたって東南アジアおよびインド洋方面に派遣し、明への朝貢をすすめた。その結果、明へ朝貢した諸国は50以上にのぼった。その鄭和の艦隊は遠征のための拠点2つを東南アジアにもうけた。ひとつは、インドシナ半島に形成されていたチャム人の国家^[ソ]チョーラ朝であり、もうひとつはマレー半島西岸のマラッカ（ムラカ）王国であった。

15世紀初期当時、微弱な勢力であったマラッカは、鄭和の遠征艦隊の拠点に選ばれたことを契機に明との関係強化につとめ、近隣諸国の圧力を巧みにかわした。また、国王以下の支配層がイスラーム教に改宗して西方の世界との関係を深めた。マラッカは東南アジアにおけるイスラーム教布教の中心地となり、この宗教はマラッカの交易網にそって島嶼部へ広がった。そのため、ジャワ島北岸の港市を失った^[タ]マジャパヒト（マジャパイト）王国は15世紀後半に衰えた。他方、港市マラッカには、インド洋方面より来航したムスリム商人が西方の特産物を運び、南シナ海より来航した中国商人が陶磁器や絹をもちこみ、ジャワ商人は^[チ]モルッカ（マルク）諸島の香辛料をもたらした。15世紀中頃以降のマラッカは、インド洋と南シナ海という2つの海域を媒介し、これに地元の東南アジアの交易網を接合させることで、アジアの海上交易の中心のひとつになった。

^[ツ]1511年、マラッカはポルトガルに占領された。これに対して、マラッカ王家はマラッカ海峡南端付近のジョホールなどに交易拠点を移して、ポルトガル領マラッカに対抗した。ムスリム商人も、ポルトガルが優勢なマラッカ海峡をさけるため、インド洋からスマトラ島西海岸にそって南下し、スンダ海峡を経由してジャワ海に入るルートを利用するようになった。この結果、16世紀末までに、インド洋に面するスマトラ島北部に^[テ]シュリーヴィジャヤ王国が興隆し、スンダ海峡に近いジャワ島西部にバンテン王国が興隆し、ジャワ島中部には^[ト]シャイレンドラ王国が興隆した。いずれも交易で栄えたイスラーム国家だが、特にスマトラ島北部に興隆した上記の王国は、オスマン帝国と直接交易し、東南アジアのイスラーム教の中心地となった。つまり、ポルトガルのマラッカ占領は、東南アジアに複数の交易拠点を成立させる契機となったにすぎなかった。16世紀後半、^[ナ]明の海禁政策がゆるむと、多数の中国商人が来航し、東南アジアの海上交易はさらに活性化した。

16世紀前半、東南アジア大陸部のミャンマーに^[ニ]コンバウン朝が興隆し、パガン朝滅亡以降続いた国内の混乱をおさめ、内陸部とベンガル湾を結ぶ交易で栄えた。14世紀中頃に成立したタイの^[ヌ]スコタイ朝は、東南アジアの諸港市に米を供給し、17世紀には日本、中国やヨーロッパ諸国との交易で繁栄した。16世紀のヴェトナムでは、^[ネ]黎朝が衰退し、16世紀末から北部の鄭氏と南部の阮氏が国土を二分して抗争した。

設問13 下線部^[ス]が正しい場合は○を、正しくない場合は適当な語を解答欄に記しなさい。

設問14 下線部^[セ]の人物が信仰していた宗教を答えなさい。

設問15 下線部^[ソ]が正しい場合は○を、正しくない場合は適当な語を解答欄に記しなさい。

設問16 下線部^[タ]の王国で盛んに信仰された宗教を答えなさい。

設問17 下線部^[チ]について、ナツメグ（ニクズク）やメースとならぶ有名な香辛料を答えなさい。

設問18 下線部^[ツ]について、この前年にポルトガルが占領し、アジアにおけるポルトガルの本拠地としたインド西海岸の港市を答えなさい。

設問19 下線部[テ]が正しい場合は○を、正しくない場合は適切な語を解答欄に記しなさい。

設問20 下線部[ト]が正しい場合は○を、正しくない場合は適切な語を解答欄に記しなさい。

設問21 下線部[ナ]に妥当しないものをA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- A 14世紀後半以降、明が実施した海上交易の統制策。倭寇対策として、また西アジア・インド産品の輸入にともなう通貨不足対策として開始された。
- B 外国船の往来のほか、中国人の海外渡航や外国との交易、大型船の建造・所有や漁業活動などを制限した。
- C 後期倭寇の鎮圧にほぼ成功したのち、1567年に緩和された。
- D 中国沿海地方の住民に対しては、内陸地域への移住を強制した。

設問22 下線部[ニ]が正しい場合は○を、正しくない場合は適切な語を解答欄に記しなさい。

設問23 下線部[ヌ]が正しい場合は○を、正しくない場合は適切な語を解答欄に記しなさい。

設問24 下線部[ネ]に妥当するものをA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- A ヴェトナム初の長期王朝で、大理やアンコール朝に侵攻した。
- B この王朝の時代に『大越史記』が編纂され、チュノム(字喃)という文字が考案された。
- C 中国の明朝の支配を打破して成立した。
- D 西山朝を倒して建国され、中国国境からシャム湾沿岸までを初めて統一的に支配した。

(03)

日清戦争の時期にハワイで興中会を結成して以来、孫文は清朝を打倒して中華を回復する革命運動を進めていた。1897年、彼は初来日し、宮崎滔天や犬養毅などの支援者を獲得した。1905年には、孫文の結成した興中会、黄興や宋教仁たちの華興会、章炳麟を中心とする光復会という革命3団体が合同して中国同盟会を〔ノ〕で結成し、孫文を総理に選出した。中国同盟会は〔ハ〕三民主義を指導理念に掲げ、機関紙『民報』を創刊した。この『民報』と〔ヒ〕梁啓超を主筆とした『新民叢報』は、「革命共和か、君主立憲か」をめぐって大論争を展開した。中国同盟会は〔フ〕華僑から資金を調達して武装蜂起をくりかえしたが、いずれも失敗に終わった。

他方、義和団事件後の清朝政府は、かつて自らが挫折させた変法運動と同様の方向で政治改革を実施していた。〔ヘ〕こうした1900年代の清朝の一連の改革は、当時の年号にちなんで「光緒新政」と呼ばれることが多い。1909年から地方議会（諮議局）が各省に開設されると、そこに結集した立憲派は国会の即時開設と議院内閣制の実現を要求した。立憲派とは、清朝による立憲君主制の試みに期待をよせた官僚・政治家・商工業者・地方有力者・軍人など、清末の体制内改革者の総称である。

1911年、清朝政府は軍機処を廃止して責任内閣制を採用した。しかし、満州皇族・貴族が閣僚の大半を占めていたため、立憲派は大いに失望した。同じ頃、対外借款の担保にするため、清朝政府は民間鉄道の国有化令を發布した。それに対して各地で激しい反対運動が発生し、四川省では暴動に発展した。こうした状況下で、1911年10月10日、長江中流の〔ホ〕（現在の湖北省武漢市）に駐屯していた新軍の将兵が反乱を起こした。その動きは各地へ波及し、10あまりの省が清朝からの独立を宣言した。いわゆる辛亥革命（第一革命）の勃発である。1912年1月1日、〔マ〕で〔ミ〕中国史上初の共和国の成立が宣言され、亡命先より帰国した孫文が革命暫定政権の大統領である臨時大総統に就任した。

清朝政府は、軍人政治家の袁世凱を起用してこの危機を切り抜けようとした。だが、袁世凱は外国勢力の支持をとりつけた上で革命政府と交渉し、清朝皇帝の退位を条件に自ら大総統になる内約を結んだ。〔ム〕1912年2月、清朝皇帝が退位して清朝は滅亡した。その後、袁世凱は臨時大総統に就任し、政府を北京に移した。〔メ〕同年8月、革命派は中国同盟会をもとに政党を組織して国会を掌握した。1913年7～9月、その政党の急進派は、列強から得た巨額の借款で力を増した袁世凱政府に反発して、反袁世凱の武装蜂起を決行したが失敗した（第二革命）。同年10月、袁世凱は正式な大総統に就任し、11月に上記政党の解散とその政党所属の国会議員438人の議員資格剥奪を命令した。そのため、国会は機能を停止し、1914年1月に正式に廃止された。同年5月、袁世凱政権は、大総統の権限を強めることをもくろみ、暫定憲法（1912年3月に公布された臨時約法）にかわる新憲法（新約法）を公布した。独裁体制を強化した袁世凱は、1915年に〔モ〕になることをくわだてた。だが、これは内外の反対で成功せず（第三革命）、まもなく彼は病死した。その後、列強の援助を受けた軍閥が国内各地に割拠し、中国は深刻な混乱に直面した。

設問25 〔ノ〕に入る地名を答えなさい。

設問26 下線部〔ハ〕に含まれないものをA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- | | |
|---------|---------|
| A 民衆の覚醒 | B 民生の安定 |
| C 民権の伸張 | D 民族の独立 |

設問27 下線部[ヒ]について、この人物が日本亡命以前に関係した活動をA～Dのなかからひとつ選びなさい。

- | | |
|--------|--------|
| A 洋務運動 | B 変法運動 |
| C 仇教運動 | D 保皇運動 |

設問28 下線部[フ]の語で言及された中国人の最大の移住先はどこであったか。A～Dのなかからひとつ選びなさい。

- | | |
|--------|---------|
| A アメリカ | B ヨーロッパ |
| C ロシア | D 東南アジア |

設問29 下線部[ヘ]について、1908年に清朝政府は国会開設の公約を行ない、またあることを実施した。それを答えなさい。

設問30 [ホ]に入る地名を答えなさい。

設問31 [マ]に入る地名を答えなさい。

設問32 下線部[ミ]について、この共和国の名称を答えなさい。

設問33 下線部[ム]について、この清朝皇帝の皇帝名を答えなさい。

設問34 下線部[メ]について、この政党名を答えなさい。

設問35 [モ]に入る語を答えなさい。

2 以下の文章(04)～(11)を読み、設問の指示にしたがって解答しなさい。

(04)

モーツァルトは、カトリック大司教領であったザルツブルクに生まれた。南ドイツの(ア)生まれの彼の父は、ザルツブルクの大司教に仕えていたが、息子の神童ぶりをザルツブルク以外の土地でも披露しようとして、1762年初めのミュンヘン旅行、続いて同年秋から翌年初めまでのウィーン旅行を企てた。ウィーンでは(イ)宮殿での[ウ]マリア=テレジアの前での御前演奏など数々のエピソードを生んだ。

設問1 (ア)には、ルイ14世がファルツ侵入を断行した時に、オランダ、神聖ローマ皇帝、スウェーデン、スペイン、バイエルン選帝侯、ザクセン選帝侯などの間に結成された同盟の地名が入る。その地名を答えなさい。

設問2 (イ)に当てはまる宮殿名を下記から選んで記号で答えなさい。

- a アルハンブラ b ヴェルサイユ c バッキンガム d サンスーシ
e クレムリン f シェーンブルン g テュイルリー h トプカプ

設問3 下線部[ウ]について、誤っているものを下記からひとつ選んで記号で答えなさい。

- a 神聖ローマ帝国皇帝カール6世の娘である。
b フランス王ルイ16世に嫁いだマリ=アントワネットは彼女の娘である。
c ロシア、プロイセンとともにポーランド分割に加わった。
d オーストリア継承戦争により神聖ローマ帝国皇帝となった。
e プロイセンのフリードリヒ2世にシュレジエン(シレジア)を奪われた。
f 啓蒙専制君主として、国内産業の育成、農奴の賦役軽減、宗教的寛容などを推進した。

(05)

中部ドイツのハレに生まれた(エ)は、1710年25歳にして(オ)の宮廷楽長に招かれた。彼はその地位を保持したままロンドンに出かけ、イギリスにおける地歩を固めた。1714年に[カ]主君がジョージ1世としてイギリス王となった後は、イギリス王室との関係が密になった。(エ)が作曲して1749年に初演された『王宮の花火の音楽』は、(キ)を記念する祝典で演奏された作品である。

設問4 (エ)に当てはまる「バロック音楽の旗手」「イギリス楽壇の父祖」と呼ばれる人物名を答えなさい。

設問5 (オ)に当てはまる地名を答えなさい。

設問6 下線部[カ]について、英語を理解しないジョージ1世に代わって政治を行い、イギリス議会政治・内閣制度の基礎を固めたとされる政治家の名を答えなさい。

設問7 (キ)に当てはまる戦争の終結条約名を答えなさい。

(06)

[ク]ポーランドは、[ケ]ウィーン会議の結果、ロシア皇帝を王とするポーランド立憲王国という形をとっていた。ロシアの[コ]ニコライ1世の抑圧政策はポーランド人の不満をつのらせ、1830年には、フランスに起こった七月革命や[サ]ベルギーの独立運動に刺激されて、[シ]ワルシャワにも革命の火の手が上がった。革命前にワルシャワを出ていた(ス)は、「ワルシャワに革命が起こり、進駐していたロシア軍は退却した」という知らせをウィーンで聞いた。だが、ウィーンからパリへ向かう途中で革命が失敗したことを知って、『革命』と呼ばれる練習曲を作っている。

設問8 下線部[ク]について、この国は14世紀から16世紀にかけて東欧・中欧に勢力を誇り文化的にも黄金時代を迎えたことがあったが、その王朝名を答えなさい。

設問9 下線部[ケ]について、ウィーン会議以前にはワルシャワ大公国が存在していたが、それが成立した条約名を答えなさい。

設問10 下線部[コ]について、彼の即位に際して武装蜂起を取行したロシアの貴族出身の革命家たちは何と呼ばれるのか答えなさい。

設問11 下線部[サ]について、どこの国からの独立運動なのか答えなさい。

設問12 下線部[シ]について、反乱の中心となったのは領主や小貴族であったが、彼らは何と呼ばれていたのか答えなさい。

設問13 (ス)に当てはまる「ピアノの詩人」といわれる人名を答えなさい。

(07)

ドイツの文豪ゲーテは、オランダ独立戦争の初期の指導者エグモント伯を主人公とした戯曲『エグモント』を書いている。エグモント伯はネーデルラントの大貴族で、神聖ローマ皇帝カール5世に仕え、カールの子フェリペ2世と[セ]イギリス女王メアリ1世との結婚の交渉にあたった。彼はスペインの対フランス戦争に従軍して功をたて、フランドル、アルトア両州の総督に任ぜられた。1560年頃から、彼はフェリペ2世の抑圧政策に反対し、オラニエ公やホールン伯らと結んで抵抗した。やがて抵抗の主力が市民階級に移り、抵抗運動の主力からはずれたが、彼はホールン伯と共に捕えられて1568年処刑された。ここから[ソ]オランダで八十年戦争とよばれるオランダ独立戦争が始まった。(タ)はゲーテの戯曲に曲を付けている。

[チ]ゲーテは戦争に従軍して敗北を味わっている。のちに回想録の中で次のように記している。

……このうえもない狼狽が全軍にひろがった。……大多数は押し黙っており、二三のものが口をきいたが、もとより誰もかれもが分別と判断を失っていたのである。ついにみんなは私に向かってどう思うか、と訊ねた。……このとき私はいった。「ここから、また今日から、世界史の新しい時期が始まる。そして君たちは、その際そこに居あわせたということが出来るのだ」と。……

設問14 下線部[セ]について、メアリ1世は生涯に6度の結婚をしたヘンリ8世の子であるが、母の名を下記から選んで記号で答えなさい。

- a キャサリン=オヴ=アラゴン
- b アン=ブーリン
- c ジェーン=シーモワ
- d アン
- e キャサリン=ハワード
- f キャサリン=パー

設問15 下線部[ソ]について、オランダやスイスの独立を国際的に公認した条約を答えなさい。

設問16 (タ)に当てはまる「楽聖」と呼ばれる作曲家の名を答えなさい。

設問17 下線部[チ]について、戦いが行われた場所を下記から選んで記号で答えなさい。

- a イエナ
- b ヴァルミー
- c アウステルリッツ
- d ライプチヒ
- e ワーテルロー
- f ボロディノ

(08)

スペインの一兵卒としてレパントの海戦に従軍したスペイン=ルネサンスの代表的作家 [ツ]セルバンテスは、のちにこの海戦を「かつてなかった最も偉大な一瞬」と呼んでいる。[テ]16世紀半ば、オスマン帝国は地中海の制海権を手中にし、地中海地域のキリスト教諸国にとって切迫した脅威と感じられていた。1571年に(ト)がオスマン帝国に占領されると、ローマ教皇、ヴェネツィア、スペインは連合艦隊を編成し反撃を試み、1571年10月7日、レパント付近でオスマン海軍に圧勝した。古代の(ナ)の海戦以来の大海戦も、ただちに形成の逆転に結びつかなかったが、キリスト教諸国は自信を回復し、スペインの海軍力は注目を集めた。

設問18 下線部[ツ]について、政治・道徳の退廃した時代にあっては、崇高な理想も現実と衝突して無惨に敗北することを風刺した彼の代表作を答えなさい。

設問19 下線部[テ]について、この戦いの名を答えなさい。

設問20 (ト)に当てはまる地名を答えなさい。

設問21 (ナ)に当てはまる地名を答えなさい。

(09)

イギリスのロマン派詩人バイロンは、ギリシア独立戦争に参加した。ビザンツ帝国滅亡後、ギリシアは民族・宗教・文化などの点で異質なトルコ人に支配されたが、19世紀に入ると民族主義的風潮が強まり、独立運動が高まった。1821年にオスマン帝国領内で反乱がおこると、独立軍は蜂起し、1822年に憲法が制定され、ギリシア語を話しギリシア正教を信仰するギリシア人の民族国家の理念が表明された。これに対して、[ニ]オスマン帝国軍はキオスなどで大虐殺を行った。1825年、オスマン帝国のスルタンの(ヌ)が、エジプト総督のムハンマド=アリーに援軍を要請した。エジプト軍は、ギリシア人が英雄的な抵抗を示したミソロンギを攻略して全滅させ、アテネも占領した。ウィーン体制下にあった西欧各国は、当初はギリシア独立に否定的な態度をとっ

ていた。だが、ロシア、イギリス、フランスが介入し、1827年10月(ネ)の海戦でオスマン帝国とエジプトの連合艦隊を撃破すると、形勢は一転した。1829年の[ノ]ロシアとオスマン帝国間の講和条約に従い、1830年にはロンドン会議によってギリシアの独立が国際的に承認された。

設問22 下線部[ニ]について、この事件を題材に「キオス島の虐殺(シオの虐殺)」を描いたフランス=ロマン主義の画家の名を答えなさい。

設問23 (ヌ)に当てはまる人名を答えなさい。

設問24 (ネ)に当てはまる地名を答えなさい。

設問25 下線部[ノ]について、この条約名を下記から選んで記号で答えなさい。

- | | |
|---------------|-----------------|
| a カルロヴィッツ条約 | b キュチュク=カイナルジ条約 |
| c セーヴル条約 | d アドリアノーブル条約 |
| e ベオグラード条約 | f サン=ステファノ条約 |
| g トルコマンチャーイ条約 | |

(10)

[ハ]ロシアの文豪トルストイは、クリミア戦争に従軍している。南下政策をとる[ヒ]ロシアがギリシア正教徒の保護を口実にオスマン帝国に干渉したことが、この戦争の発端であった。ロシアの南下を恐れるイギリス、対外的名声を求めるナポレオン3世治下のフランスがオスマン帝国側に参戦し、[フ]イタリア統一に有利な条件を得ようとしてサルデーニャ(サルディニア)も加わった。中立的立場のオーストリアも外交面でロシアを圧迫したため、ロシアはバルカン半島から退却して、クリミア半島の(ヘ)要塞の攻防が戦いの中心となった。結局ロシアは敗れ、[ホ]パリ条約が締結されて、ロシアの南下政策は頓挫した。また、このロシアの敗北は、農奴制社会の弱体を露呈し、アレクサンドル2世の諸改革を進めさせる契機となった。

設問26 下線部[ハ]について、ナポレオン戦争期のロシア貴族を描いた彼の代表作の名を答えなさい。

設問27 下線部[ヒ]について、オスマン帝国内に住むギリシア正教徒の保護権をロシアが獲得した条約名を設問25の選択肢から選んで記号で答えなさい。

設問28 下線部[フ]について、イタリア統一をめざす運動を何と呼ぶのか答えなさい。

設問29 (ヘ)に当てはまる地名を答えなさい。

設問30 下線部[ホ]について、パリ条約にある黒海沿岸での艦隊・要塞保持禁止の条項の破棄をロシアが宣言したのはいかなる機会をとらえてのことであったのか、下記から選んで記号で答えなさい。

- | | |
|------------------|----------------|
| a プロイセン=オーストリア戦争 | b プロイセン=フランス戦争 |
| c ロシア=トルコ戦争 | d 三帝同盟 |
| e ベルリン会議 | |

(11)

後にノーベル文学賞を受賞するヘミングウェーは第一次世界大戦に志願してイタリア戦線で負傷した。1936年に始まる [マ] スペイン内乱では、彼は共和派の特派員となって従軍した。

世界恐慌によりスペイン社会が混乱に陥り、1931年4月の地方選挙で共和派が勝ったことをきっかけにスペイン王が退位・亡命し、スペイン共和国が成立した。新共和国政府は憲法を制定したが、土地解放を実施せず、地主、教会、軍部、資本家などは巻き返しを図り、政情は不安定であった。1936年1月、穏健共和派から無政府主義者までを含めて結成されたスペイン人民戦線は、2月の総選挙に圧勝し、(ミ)内閣が成立した。人民戦線政府に反対する反共和派の軍部、地主、教会に支持されたフランコは、[ム] モロッコで反乱を起こし内線が始まった。政府は大部分の反乱を鎮圧したが、フランコ側はドイツやイタリアからの武器援助を得て、首都に向かった。 [メ] 一方、政府側は、同じ人民戦線政府でありながら不干涉政策のため、フランスの援助を得ることができなかつた。 同年9月にドイツ、イタリア、ソ連を含むヨーロッパ27か国の不干涉委員会ができしたが、ドイツ、イタリアは援助をやめなかつた。やがてソ連が政府側に武器援助を開始し、世界各地の知識人たちも国際義勇軍を結成し、人民戦線側について戦闘に参加した。同年10月、フランコ側はブルゴスでフランコを主席に選り国民政府を樹立した。[モ] 1937年4月、ドイツおよびイタリア軍がスペイン北部バスク地方の小都市ゲルニカを無差別爆撃して多くの犠牲者を出し、世界に衝撃を与えた。 人民戦線側政府は1936年11月バレンシアに、1937年10月にはバルセロナに移った。しかし、1939年2月にバルセロナが陥落、同年3月にはマドリードが陥落して、フランコ側の勝利のうちに内乱は終結した。

設問31 下線部[マ]について、この体験をもとにして書かれた小説名を下記から選んで記号で答えなさい。

- | | |
|---------------|----------|
| a 『日はまた昇る』 | b 『老人と海』 |
| c 『武器よさらば』 | d 『午後の死』 |
| e 『誰がために鐘は鳴る』 | |

設問32 (ミ)に当てはまる人名を答えなさい。

設問33 下線部[ム]について、現在でもスペインの領地となっている都市名をひとつ答えなさい。

設問34 下線部[メ]について、フランスの人民戦線内閣の首相の名を答えなさい。

設問35 下線部[モ]について、当時パリ世界博覧会のスペイン館に壁画を依頼されていたピカソは、この惨事をテーマに作品を仕上げたが、それが彼の代表作のひとつとされる「ゲルニカ」である。その作品が現在展示されている都市を下記の中から選んで記号で答えなさい。

- | | | |
|---------|---------|----------|
| a ロンドン | b パリ | c ニューヨーク |
| d マドリード | e ジュネーヴ | f ウィーン |

防衛大学校本科第62期学生

一般採用試験（前期日程）第1次試験問題正誤表

専攻	人文・社会科学
教科	地理歴史
科目	世界史

修正箇所	誤	正
試験問題 12頁中の10 2 (08)の6行目	ただちに <u>形成</u> の逆転に	ただちに <u>形勢</u> の逆転に
試験問題 12頁中の12 2 (11)の8行目	反乱を起こし <u>内線</u> が始まった。	反乱を起こし <u>内戦</u> が始まった。
試験問題 12頁中の12 2 (11)設問35の1行目	当時パリ <u>世界</u> 博覧会の	当時パリ <u>万国</u> 博覧会の